

平成31年度
事業計画書

短期入所生活介護

大津みやび野ホーム短期入所生活介護

法人理念

「いたわりと思いやり」

「地域福祉の拠点として」

1. 事業の内容

事業の指定	(介護予防) 短期入所生活介護
事業の名称	大津みやび野ホーム短期入所生活介護
指定番号	2874007681
施設の所在地	〒671-1146 姫路市大津区大津町一丁目 31-111 TEL 079-236-7760 / FAX 079-236-3180
事業開始	平成 26 年 4 月 1 日
管理者	施設長 細野欣之
利用定員	10 人/日

2. 事業目標

次に掲げる年度目標の具体的対応策を周知・実行し、理念の実現を目指す。

目 標	ケアの統一を図り、安心して生活が送れる環境を整える
理 由	利用時の様子やケア変更時は申し送りを行ない情報共有に努めているが、不十分なこともあり職員によって支援方法やケアにおける認識の差も見られる。自宅での生活の延長として短期入所生活介護があることを再度認識し、職員の対応も一つの環境と捉え、利用者が安心、かつ居心地が良いと思えるような環境が必要と感じたため。
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 送迎時やカンファレンス等を活用し、家族及び介護支援専門員との連携をより深め、短期入所生活介護計画書の充実を図ることで、より個別性の高いケアを図る。 2. 清掃の回数や実施時間を見直し、より清潔な空間での生活支援を図る。 3. 毎月実施している事業所会議にて利用者個々の現状やケアにおける問題点について情報共有を行い、ケアの統一を図る。 4. 職員との個別面談を実施し、支援方法、接遇面を中心に振り返り、職員個々のスキルアップを図る。 5. アンケートの実施を行い、満足度、提供しているサービスを客観的に評価し、見直しを図る。

3. 職員配置

介護保険法に定められている人員配置基準を遵守し、利用者の方々が、安全で快適生活が過ごせるように次の人員を配置する。

職 種	常 勤	非常勤		フルパート		パート		合 計	
		人数	換算	人数	換算	人数	換算	人数	換算
施 設 長	1							1	1.0
事 務 員						1	0.6	1	0.6
介護支援専門員	1							1	1.0
生活相談員	1							1	1.0
管理栄養士	1							1	1.0
栄 養 士									
機能訓練指導員	1							1	1.0
看 護 職 員	3			1	0.8	2	0.6	6	4.4
介 護 員	24			3	2.9	17	5.7	44	32.6
調 理 員				4	4.0	11	4.8	15	8.8
医 師						1	0.1	1	0.1
宿 直 員						4	2.8	4	2.8
そ の 他		1	0.9					1	0.9
合 計	32	1	0.9	8	7.7	36	14.6	77	55.2

※短期入所生活介護の人員も含む。

4. 各種委員会

法令遵守及びサービスの質の向上を図るため、全ての職員が次のいずれかの委員会に属し、多職種が協働することにより、効果的に事業を展開する。

委員会名	活 動 目 標	活動回数
食事委員会	楽しめる食事、選択できる食事の提供を行い、食事マニュアルの検証を実施する。	月1回開催 【施設内研修】 1月
リスク管理委員会	ヒヤリハット、事故の協議を行い、情報共有、各職種間の連携を強化することで事故、クレーム件数を減らし、サービスの質の向上につなげる。	月1回開催 【施設内研修】 10月・3月
感染委員会	ノロウイルス、疥癬、インフルエンザの予防、発症における対応策の啓発を行う。また、感染症対応マニュアルの検証を実施する。	月1回開催 【施設内研修】 6・11月

委員会名	活動目標	活動回数
褥瘡委員会	各職種との連携を図り褥瘡ゼロを目指す。褥瘡マニュアルの検証を実施する。	月1回開催 【施設内研修】 8月
医療的ケア安全対策委員会	日頃の健康チェック、嘱託医、各職種との連携を通して利用者の健康維持を図る。また、服薬管理マニュアルの検証を実施する。	月1回開催 【施設内研修】 4月
身体拘束虐待防止委員会	身体拘束は人権擁護の観点から問題があるだけでなく、生活の質、人としての尊厳を根本から損なう危険性を有していること、拘束することによって起こる身体的、精神的、社会的弊害を理解し、身体拘束ゼロを目指す。	月1回開催 【施設内研修】 5月
OJT教育委員会	育成過程を通じてストレスマネジメントも兼ねた4ヶ月に1度の面談を実施。統一されたケアの提供、バーンアウトの防止を図る。年度末にチェックシートの検証を実施する。	月1回開催 【職員面談】 4ヶ月に1回
排泄委員会	個々にあった排泄支援（トイレでの排泄、適正な尿パッドの使用等）の取り組みを行う。また、排泄マニュアルの検証を実施する。	月1回開催 【施設内研修】 7月
入浴委員会	心身の清潔の為だけではなく、入浴もQOL向上の一環と捉え、手浴、足浴を各ユニットにて週1回以上は実施する。また、入浴マニュアルの検証を実施する。	月1回開催 【施設内研修】 9月
レクリエーション委員会	レクリエーションの意味を理解し、メリハリのある生活を送れる取り組みを行う。定期的な活動も企画する。	月1回開催

5. 年間行事計画

一人ひとりの利用者が、家族や地域住民とともに過ごす時間を作り、メリハリのある生活や馴染みの習慣が継続できるように季節に応じた次の行事を計画する。

月	行事内容	内容
4月	①お花見	①近隣にドライブに出かけ、花見を行う。
5月	①ドライブ外出	①新舞子海岸や相生方面などへ出かけ外気浴を行う。
7月	①大津茂小学校夏祭り	①大津茂小学校で行われる地域の夏祭りに参加し、イベントを楽しみ地域交流を図る。

月	行 事 内 容	内 容
8 月	①夏祭り	①特別養護老人ホームの入居者と一緒に盆踊りやアトラクションを楽しむ。
9 月	①寿会	①岩波右扇会の踊りを全員で楽しむ。
10 月	①秋祭り見学（魚吹神社）	①天満地区などの屋台の練り合わせを見学する。
11 月	①ドライブ外出	①新舞子海岸や相生方面などへ出かけ外気浴を行う。
12 月	①クリスマス会	①忘年会を兼ねて特別養護老人ホームの入居者と一緒に食事やアトラクションを楽しむ。
1 月	①初詣（魚吹神社・広畑天満宮）	①近隣の神社へ初詣の参拝に出かける。
2 月	①節分（豆まき）	①節分の豆まきを行う。
3 月	①入居者との意見交換会	①特別養護老人ホームの入居者と一緒に生活に対する意見交換会を施設長も交えて実施する。

6. サービスの種類及び概要

利用者が家庭的な雰囲気のもと、日々の生活がすごせるように次のサービスを行う。

サービスの種類	開催日	概 要
散 髪	毎月第2火曜日	理容師の訪問により散髪を行う。(実費)
訪 問 販 売	毎週火曜日	パン・菓子類の買い物を行う。
手作りおやつ	月1回	季節に応じた手作りおやつを行う。
ドライブ外出	月1回	季節を感じる事が出来る外出を行う。
喫茶	月2回	選択メニューによる喫茶レクリエーションを行う。
園だよりの発行	月1回	事業所の活動内容や取り組み等を毎月1回広報誌として発行する。

7. 施設の安全対策

利用者の方々の安全な生活を継続するため、予測が難しい災害への対策を次のとおり行い、防災意識を高める。

月	訓練種目	内容
4月	防災設備訓練	防災に関する設備の使用を方法の訓練
5月	みやび野合同訓練	みやび野エリアでの連携訓練
6月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
7月	備蓄食配付訓練	災害を想定した備蓄食配付訓練及び確認
8月	消防訓練（日中体制）	日中を想定した火災訓練
9月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
10月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
11月	みやび野合同訓練	みやび野エリアでの連携訓練
12月	消防訓練（日中体制）	日中を想定した火災訓練
1月	災害対策訓練	災害時の情報収集等における特別訓練
2月	消防訓練（夜間体制）	夜間を想定した火災訓練
3月	消防訓練（夜間体制） ※網干消防署立会	夜間を想定した火災訓練

8. 施設内職員研修

職員の資質の向上を図り、より質の高いサービスを実行していくために、毎月、各委員会が中心となって次のとおり施設内研修を実施する。

月	研修名	対象	研修担当
4月	倫理及び法令遵守、 個人情報保護に関する研修 服薬、高齢者の疾病について	全職員	施設長 看護師
5月	人権意識〔身体拘束〕について	介護・看護職員	介護支援専門員
6月	感染症について（食中毒）	介護・看護職員	管理栄養士
7月	排泄ケアについて	介護・看護職員	排泄委員会
8月	褥瘡について	介護・看護職員	褥瘡委員会〔看護師〕

月	研 修 名	対 象	研修担当
9月	入浴ケアについて	介護・看護職員	入浴委員会
10月	リスクマネジメントについて	全職員	ユニットリーダー
11月	感染症について (ノロ、インフルエンザ)	全職員	感染委員会 [ユニットリーダー]
12月	終末期ケアについて	介護・看護職員	介護支援専門員
1月	食事ケアについて	介護・看護職員	食事委員会
2月	介護保険制度の施策・動向について	全職員	施設長
3月	リスク管理研修	全職員	リスク管理委員会

9. 研修計画

各職員の職種と役割、経験年数に合わせて、習得すべき能力やスキルを明確にし、ボトムアップ（底上げ）を図るため、それぞれに応じた研修への参加を促す。

対 象	研 修 内 容	研 修 名
管理職	・各事業所を取りまとめるリーダーとして求められる役割や職員のストレスマネジメント等について	リーダー研修
法人全体	・福祉のプロとして、選ばれる事業所となるために必要なマナー等について	接遇研修
法人全体	・職員の健康増進及び生活習慣病等について	産業医研修